

CSR REPORT 2017

INFORMATION REVOLUTION HAPPINESS FOR EVERYONE.

情報革命で 人々を幸せに



ソフトバンクグループは情報革命を牽引し、
人類に最も貢献する企業を目指しています。

シンギュラリティー(技術的特異点)という人類史上最大のパラダイムシフトがこれから起きようとしています。インターネットにつながる多種多様なデバイスIoT(Internet of Things)は今後爆発的に増え続け、そこから生まれるビッグデータも加速度的に増え続けていきます。そして、人工知能がそれを学習することによって、いずれ人類の知能を超える時がやってくるでしょう。

そのような未来を見据え、IoT時代のキープレイヤーになると期待される半導体設計大手の英国アーム社を買収し、さらに調達総額10兆円規模のファンド「ソフトバンク・ビジョン・ファンド」を設立しました。これらにより情報革命をさらに加速させ、人類が直面する課題やリスクの解決策を見出すことに貢献していきます。

ソフトバンクグループは「情報革命で人々を幸せに」という理念の下、「ソフトバンクグループCSR基本方針」を定めています。事業を通じて継続的な社会課題の解決に取り組むことで、世界中の人々が豊かに暮らすことができる社会の実現を目指していきます。

2017年8月
ソフトバンクグループ 代表取締役社長

孫 正義

ソフトバンクグループCSR基本方針

ソフトバンクグループは通信事業者として、情報という名のライフラインを守る重要な使命と責任を負っています。この大きな社会的責任を完遂するために、私たちは常にお客さまの「うれしい」から考え始め、成長への果敢な挑戦を通じて株主の皆さまの期待に応えます。また、その挑戦が成長を生む環境を整えて従業員のやりがいと誇りを大切に、相互信頼と革新をベースにしてお取引先との発展を期し、そして健全なインターネット社会の夢と志が次世代に受け継がれるような社会への貢献を続けていきます。

- 私たちは… 私たちソフトバンクグループは、「情報革命で人々を幸せに」という経営理念の下、事業を通してステークホルダーの皆さまと共に発展を遂げる企業でありたい。そのために、私たちは、自らにこう問いつづけます。
- 創っているだろうか ワクワクする驚きを。わかりやすさと安心を。みんなの「うれしい」を。ソフトバンクグループは、**お客さま**本位でありつづけます。
- 進めているだろうか 成長へのあくなき挑戦を。健全で透明な経営を。公正で適時な情報開示を。ソフトバンクグループは、**株主**の皆さまの期待に応えていきます。
- 持っているだろうか チャレンジと成長の場を。個性が生かされる環境を。頑張りや成果が評価される仕組みを。ソフトバンクグループは、**従業員**のやりがいと誇りを大切にします。
- 築いているだろうか 相互の信頼を。公正な取引関係を。革新を生み出すパートナーシップを。ソフトバンクグループは、**取引先**の皆さまと共に発展していきます。
- 育んでいるだろうか 健全なインターネット社会を。夢と志をもつ次世代を。地球の未来を。ソフトバンクグループは、人々が幸せになる**社会**作りに貢献します。

ソフトバンクグループは、あすのインターネット社会にむけて、志高く事業に取り組んでまいります。

ソフトバンクグループについて

ソフトバンクグループは、事業領域である「情報産業」において、時代に必要とされる最先端のテクノロジーと最も優れたビジネスモデルにより、情報革命を推進していきます。

2017年3月末現在

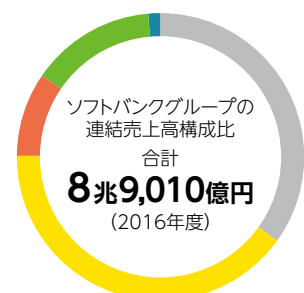
社名	ソフトバンクグループ株式会社 SoftBank Group Corp.	
設立年月日	1981年9月3日	
本社所在地	〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1	
代表者	代表取締役会長 兼 社長 孫 正義	
資本金	2,387億72百万円	
子会社数	761社	
関連会社数	130社	
従業員数	199人(連結ベース68,402人)	

ソフトバンクグループの事業領域と主なグループ企業(2016年度)

■ 国内通信事業	3兆1,938億円	ソフトバンク株式会社/Wireless City Planning株式会社
■ スプリント事業	3兆6,234億円	Sprint Corporation
■ ヤフー事業	8,535億円	ヤフー株式会社/アスクル株式会社
■ 流通事業	1兆2,954億円	Brightstar Corp. /ソフトバンクコマース&サービス株式会社
■ アーム事業	1,129億円	ARM Holdings plc
■ その他	1,283億円	福岡ソフトバンクホークス株式会社

社名の表記について…このCSRレポートでは、特段の記載がない限り、2017年8月1日時点の社名を示しています。各セグメントの売上高は、億円未満を四捨五入しています。

売上高の構成比率*



■ 国内通信事業	35.2%
■ スプリント事業	39.9%
■ ヤフー事業	9.4%
■ 流通事業	14.3%
■ アーム事業	1.2%

*セグメントの売上高の単純合算額(「その他」を含まず)に対する各セグメントの比率



Pepper 社会貢献プログラム



熊本地震被災地支援



ショートタイム ワーク制度

特集 1

プログラミング教育や社会貢献に活用いただくことを目的に、全国の自治体や非営利団体に対して人型ロボット「Pepper」を3年間無償で貸し出す「Pepper 社会貢献プログラム」を実施しています。

▶ P. 6-7 へ

特集 2

2016年に発生した熊本地震の被災地復興のために、ソフトバンクグループとして、継続的な支援に取り組んでいます。

▶ P. 10-11 へ


特集 3

障がいにより就労意欲があってもその機会を得られなかった人に対し、短時間から働くことができる、新たな雇用制度の普及促進に取り組んでいます。

▶ P. 14-15 へ

■ 特集 1 Pepper 社会貢献プログラム	6
■ 夢と志を育む	8
ICT部活動支援	
成長ログサービス	
DO-IT Japan	
福岡ソフトバンクホークス選手などによる野球教室	
トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム	
■ みんなで協力できる社会を	9
チャリティスマイル	
かざして募金プラットフォーム	
チャリティモバイル	
■ 特集 2 熊本地震被災地支援	10
■ 東日本大震災の復興支援	12
チャリティホワイト	
TOMODACHI	
ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム	
【ヤフーによる継続的な復興支援】	
Search for 3.11	
ツール・ド・東北	
■ 多様なニーズへの対応	13
障がい者アスリート	
魔法のプロジェクト	
障がいのある方をサポートするアプリ	
ソフトバンク手話教室	
■ 特集 3 ショートタイムワーク制度	14
■ 働き方改革 Smart & Fun!	16
■ 環境の未来を	17
メガソーラー発電・風力発電	
自然でんき	
3Rの取り組み	
■ 災害対策 / 情報リテラシー	18
災害訓練・災害時安心サービス	
考えよう、ケータイ・あんしんフィルター	
■ 海外のグループ企業の取り組み	19
アーム / スプリント / ブライトスター	
■ CSR活動報告	
2016年度実績と2017年度予定	20

[報告期間] 2016年4月～2017年3月
[主な報告範囲] ソフトバンクグループ(国内連結子会社)

 このマークをクリックすると、詳細情報(外部サイトへ)リンクします。

Pepperを活用した 社会課題の解決を目指して

全国に約2,000台のPepperを3年間無償貸し出し

ソフトバンクグループは、子どもたちのプログラミング教育や、地域や社会の課題解決に活用いただくことを目的に、自治体や非営利団体へ人型ロボット「Pepper」を3年間無償で貸し出す「Pepper 社会貢献プログラム」を実施しています。

この取り組みは、「スクールチャレンジ」*1と「ソーシャルチャレンジ」*2の2つのカテゴリで実施しています。

*1 自治体が管轄する公立小中学校を対象にPepperを貸し出し、プログラミング授業などの教材として活用

*2 全国の非営利団体向けにPepperを貸し出し、被災地支援、障がい者支援など社会課題の解決を支援



現在
341カ所
導入!

※ソーシャルチャレンジ・
スクールチャレンジ合算

■ 2017年3月末時点導入地域



将来を担う子どもたちに、 ロボット共生時代を見据えて最先端の教育を

「スクールチャレンジ」では、全国17の自治体と連携し、AIやロボットと共生する時代を見据えて、将来の社会やビジネスをリードしていく存在である子どもたちに、ロボットを活用したプログラミング授業を通じて、論理的思考力や問題解決力、創造力などを育てる教育活動のサポートをしています。教育のパラダイムシフトを牽引していく。これが私たちの思いです。



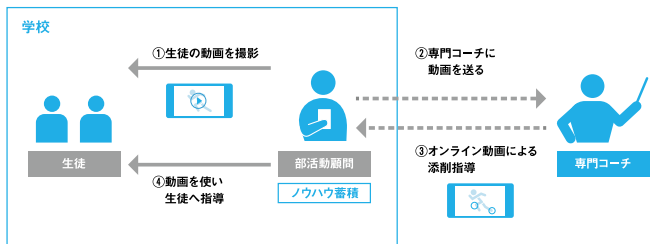
ICT部活動支援

スマートフォンなどを活用して
部活動指導をサポート

ソフトバンクでは、競技指導に不安を抱える部活動の顧問と体育の先生に対して、知識や経験が豊富な専門のコーチからオンライン動画による遠隔の指導を受けることで指導力を補完し、スポーツを通じて子どもたちの成長をサポートする、「ICT部活動支援」に取り組んでいます。

この取り組みでは、先生が生徒の動画を撮影し、スマートフォンなどを使って専用のページに動画を送ることで、専門のコーチからアドバイスがもらえます。これにより、天候や時間的な制約を受けやすい地域面での格差の解消や、先生の負担軽減に貢献します。

ICT部活動支援



成長ログサービス

一生涯の成長／発達／健康に
関する情報を記録管理

ソフトバンクでは、乳幼児期から生涯にわたり成長・発達・健康に関する情報を記録管理することができるウェブサービス「成長ログサービス」※1,2の提供を2017年7月より開始しました。

本人や家族が、個性や特長を早期に把握し、理解することで、特性の生かし方や伸ばし方、周囲からの正しい理解や適切なサポートといった「より良い環境」を得ることが可能となります。そうした「気づき」の重要性に着目し、従来の母子手帳での乳幼児期の発育記録に加え、コミュニケーションや生活における発達状態、学齢期以降の健康状態など、生涯にわたる情報の管理を可能としました。

- ※1 岡山県新見市で導入 (2017年7月時点)
- ※2 ソフトバンクが企画・開発に協力し、2016年6月から大阪府池田市が住民向けに提供している成長記録サービス「e-Ikeda_s」の開発と利用実績における知見を活用



DO-IT Japan

テクノロジーを活用し、障がいのある若者を将来のリーダーへ育成

ソフトバンクは、2007年から障がいや病気を抱える若者の進学・就労支援プログラム「DO-IT Japan」※1,2を支援しています。

2016年度は、自由な発想でプログラミングすることでITへの関心を高め、活用する力を身に付けるきっかけにして欲しいという思いから、感情を持った人型ロボット「Pepper」のプログラミング教室が取り入れられ、小学6年～高校3年生の読み書きなどに障がいのある若者19人が参加しました。



- ※1 東京大学先端科学技術研究センター主催
- ※2 Diversity, Opportunities, Internetworking and Technology

福岡ソフトバンクホークス選手などによる野球教室

ホークス選手とふれあいながら、
スポーツの楽しさを体感

ソフトバンクグループは、野球の楽しさを通じて子どもたちの健全な育成に寄与し、地域スポーツ振興の一助とすることを目的として、毎年野球教室を開催しています。福岡ソフトバンクホークスと福岡ソフトバンクホークス選手会は、2016年11月に九州全域※の計9会場でふれあい野球教室「SoftBank HAWKSベースボールキッズ 2016 in 九州」を実施し、約2,250人の小学生が参加しました。



※沖縄県除く

トビタテ！ 留学JAPAN日本代表プログラム

次世代のグローバル人材を育成する
官民協働プロジェクト

ソフトバンクグループは、2014年から開始された官民協働で取り組む海外留学支援制度「トビタテ！ 留学JAPAN日本代表プログラム」を支援しています。「将来世界で活躍できる人材」となることを目指し、2020年までの7年間で約1万人の高校生・大学生がこのプログラムの派遣留学生として海外に送り出される計画です。



チャリティスマイル

頼れる家族のいない子どもたちを
毎月10円で支援

累計加入件数
約12.7万件*
※2017年7月末時点

「チャリティスマイル」は、事故や災害などで親を亡くした子どもや虐待などにより居場所を失った子どもたちを支援する携帯電話のオプションサービスです。現在、国内では、約3万人の子どもたちがさまざまな事情により児童養護施設で生活しており、そのうち約6割の子どもが過去に虐待を受けた経験を持っています。お客さまから携帯電話料金に毎月10円の寄付をプラスしていただき、ソフトバンクも同額の10円をプラスして、計20円を2年間、子ども支援を行う非営利団体に届けます*。寄せられた寄付金は、児童養護施設を利用中・退所後の子どもたちの自立支援や、遺児への奨学金貸与として活用されます。

<寄付先>
あしなが育英会／社会福祉法人 中央共同募金会

チャリティスマイル
お申し込みはこちら



*加入期間はお客さまのご加入から2年間



チャリティスマイル



GOOD DESIGN
AWARD 2016

かざして募金プラットフォーム

携帯電話でできる、身近な募金活動

寄付総額
8億円
※2017年8月末時点

ソフトバンクは、スマートフォンの利用料金の支払いと一緒に100円から寄付ができる「かざして募金プラットフォーム」を提供しています。多くの方がより簡単に寄付できるプラットフォームを提供することで、非営利団体の継続的活動を支援しています。

2017年8月現在、340以上の団体にご利用いただき、寄付総額は8億円を超えています。

今後も、さまざまな社会課題の解決のために取り組む非営利団体の活動を継続的に支援するため、より多くの方にご利用いただける環境づくりを行うとともに、非営利団体と寄付者のコミュニケーション構築などの活用方法を検討していきます。



かざして募金



かざして募金寄付方法：
各非営利団体の専用の募金画面より、寄付額と寄付種別を選択することにより寄付ができます。
(*ソフトバンク*携帯電話以外をご利用の方は、クレジットカードでのお支払いとなります)

チャリティモバイル

ソフトバンクの携帯電話を
使うだけで社会貢献

寄付先非営利団体
10団体

「チャリティモバイル」は、“ソフトバンク”の携帯電話の新規契約や機種変更の際に、専用の申し込みページよりご契約いただくことで、ソフトバンクが非営利団体に寄付するプログラムです。寄付金は、一定額(6,000円)および毎月のご利用料金の3%で、最長2年間継続的に寄付をします。お客さまの追加負担なく非営利団体を支援できるこのプログラムは、お客さまに代わって、ソフトバンクが支援の気持ちを届けます。

寄付先は次の団体から選べます(2017年7月時点)
あしなが育英会／社会福祉法人 中央共同募金会／特定非営利活動法人 国境なき医師団／認定NPO法人 テラルネッサンス／特定非営利活動法人 トイボックス／公益財団法人 どうぶつ基金／認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク／公益財団法人 日本ユニセフ協会／特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン／一般社団法人 ピースポート災害ボランティアセンター(順不同)



チャリティモバイル



被災地の復興を 心より願い、動く

ソフトバンクグループは、2016年に発生した熊本地震の被災地で被災者に寄り添った継続的な支援活動を続けています。

「Pepper」が避難所を訪問



2016年5月～7月まで、避難所で生活している方々の心のケアのサポートを目的として、熊本県内の小学校など5カ所の避難所に人型ロボット「Pepper」を派遣しました。Pepperは避難所生活をしている高齢者や、避難所となっている小学校に通う子どもたちにも大人気でした。「避難所の部屋にこもりきりだったお年寄りが、Pepperと話すために部屋から出ることが多くなった」といった声も聞かれ、Pepperの特長を生かした被災地支援を行いました。

被災地で野球教室を開催

熊本地震で被災した子どもたちに、スポーツを通じて笑顔届けたい――

そんな思いから、ソフトバンクグループでは2016年6月から、福岡ソフトバンクホークスのOBによる野球教室を開催しています。この野球教室には、男女を問わず、野球は初めてというお子さんも気軽に参加できます。

参加者からは「地震で野球ができない日が続いたが、野球教室で体を動かしたら楽しく、また野球を頑張ろうと思いました」などの感想が寄せられています。



九州を元気にしたい！ 福岡ソフトバンクホークスの復興支援

福岡ソフトバンクホークスでは2016年5月から、熊本・大分 地震災害復興支援プロジェクト「ファイト！九州」を展開しています。

九州に根ざしたプロ野球団として、「何をなすべきか」「何ができるのか」「求められることは何か」のそれぞれを追求し、募金活動やチャリティマッチの実施、選手による被災地訪問や球場への招待、さらには観客動員1名につき1円をNPO法人ホークスジュニアアカデミーに寄付する「観客動員連動型 支援プログラム」の推進など、2016年度は計25,761,761円を寄付しています。

引き続き、本プロジェクトを推進しています。



インターネットを通じて行う復興支援

ヤフーでは、「Yahoo! ネット募金」を通じ、さまざまな形で熊本の復興支援に取り組んでいます。熊本の未来をつくる子どもたちのために使われる「くまモン募金箱」や、被害を受けた熊本城の修復再建に向けた募金などが、その一例です。

「Yahoo! ネット募金」は、クレジットカードのほか、Tポイントなどでも寄付することができます。



チャリティホワイト

東北の子どもたちを
お客さまとともに継続的に支援

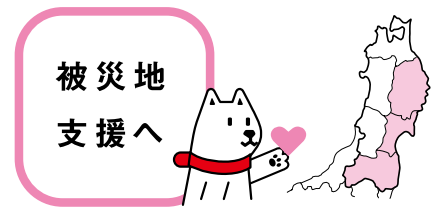
寄付総額
11億円超

※2017年7月末時点

「チャリティホワイト」は、東日本大震災で被災した子どもたちを支援するために、毎月の携帯電話利用料金やブロードバンドサービス料金にプラス10円の寄付をいただき、ソフトバンクも10円を加えた計20円を寄付するオプションサービス*です。集まった寄付金は、被災地の子どもたちを支援する非営利団体を通じて、子どもたちの心のケア、学習のサポート、交流の場の提供のために活用されます。

2011年8月から開始して、これまでの寄付総額は11億円を超えています。

<寄付先> あしなが育英会／社会福祉法人 中央共同募金会



※加入期間はお客さまのご加入から2年間

TOMODACHI

ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

東北の復興を担う
リーダー育成プログラム

累計**800人**が参加

2021年度まで継続実施予定

ソフトバンクグループは、毎年夏に、東日本大震災の被災地である岩手・宮城・福島の高校生100人*を、主にカリフォルニア大学バークレー校で行われる3週間の集中コースに招待しています。本プログラムでリーダーシップと地域貢献について学んだ生徒たちの多くは、帰国後、本プログラムで学んだことを生かして、積極的に地域貢献活動に取り組み、リーダーシップを発揮しています。

*2012年度は300人

**TOMO
DACHI**



【ヤフーによる継続的な復興支援】

Search for 3.11

3.11、検索は応援になる。

寄付総額

1億2,247万3,410円

「Search for 3.11」は、3月11日に「Yahoo! 検索」で「3.11」というキーワードで検索された人数×10円を、復興支援に取り組む団体にヤフーが寄付する取り組みです。2014年に開始し、2017年3月には、42,945,320円を東北の復興に携わる6の団体へ届けました。

2017年の寄付先：認定NPO法人カタリバ／認定NPO法人底上げ／公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン／公益財団法人みちのく未来基金／福島県立小高産業技術高等学校／福島県立ふたば未来学園高等学校



ツール・ド・東北

自転車で被災地の「今」を感じ
「未来」へつなげる

累計参加ライダー数

11,517人

2013年より開催している自転車イベント「ツール・ド・東北」は、今年で5回目を迎えました。少しずつ規模を拡大させながら、地元の方々、ライダーやボランティアスタッフなど、イベントに関わる全ての人の記憶に残るイベントに成長しています。東北の復興を長く支えていくため、10年程度継続して開催することを目指しています。



障がい者アスリート

夢に挑戦する
障がい者アスリートを
バックアップ

ヤフーは、2020年東京パラリンピックでのメダル獲得を目標に、競技活動と業務を両立させて、日々全力で取り組む障がい者アスリートを応援しています。

さまざまな苦難や苦勞を乗り越え、夢に挑戦するヤフーの障がい者アスリートへの応援をよろしくお願いいたします。



パラバドミントン

杉野 明子

最近の活動実績
2016年 第1回 パラバドミントン・コロンビア・インターナショナル2016 女子シングルス：優勝、ミックスダブルス：優勝

車いす陸上(マラソン)

洞ノ上 浩太

最近の活動実績
2016年 リオデジャネイロパラリンピック フルマラソン：7位

車いすフェンシング

加納 慎太郎

最近の活動実績
JWFA(日本車いすフェンシング協会) 国内ランキング1位 (2017年6月10日時点)

車いす陸上(マラソン)

武村 浩生

最近の活動実績
2016年 第36回大分国際車いすマラソン ハーフマラソン：10位 (新人賞)

魔法のプロジェクト

ICTを活用して、
障がいのある子どもの生活や学習を支援

ソフトバンクとエデュアスは、東京大学先端科学技術研究センターと共に、障がいのある子どものための携帯情報端末の活用事例研究「魔法のプロジェクト」に2009年から取り組んでいます。これまでに全国延べ430以上の特別支援学校などにご協力いただいています。

2016年度は、ICTを活用して学びの質を改善していくことをテーマに、「魔法のプロジェクト2016 ～魔法の種～」を実施し、教育現場だけでなく教員養成課程にいる学生にも参加いただき、幅広い研究を行いました。

第12回

日本パートナーシップ大賞受賞
「教育イノベーション賞」

2017年3月、NPOと企業の優れたパートナーシップ事例を表彰する第12回日本パートナーシップ大賞*において、これまでの取り組みが評価され、「教育イノベーション賞」を受賞しました。

*主催：特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター

障がいのある方をサポートするアプリ

誰とでもコミュニケーションがとれる
社会を目指して

①視覚障がい者向け使い方教室 for iPhone

視覚障がいのある方がiPhoneの基本的な操作方法を学習・練習するためのアプリ。



②ゲームで学べる手話辞典*

約3,000語以上の手話単語を360度回転可能な3Dアニメーション付きで学べる手話学習アプリ。



*ダウンロード数：約11万件 (2017年7月末時点)

ソフトバンク手話教室

手話で広がるコミュニケーション

ソフトバンクでは、日本手話によるコミュニケーションを促進するため、日本手話を母語とするろう者を講師に迎え、東京と大阪の2会場で手話教室を開講しています。現在までに延べ7,328人以上の方が受講しています。



誰もが参加できる 社会を目指して

短時間から就業できる新しい雇用システム

「ショートタイムワーク制度」

ソフトバンクが導入している「ショートタイムワーク制度」は、就労意欲があっても、障がいによりその機会を得られなかった人が、週20時間未満で就業できる新しい雇用システムづくりを目的とした制度です。「発達障がい」「精神障がい」のある人が無理なく働けるための環境整備を目的に、ソフトバンクが東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野と連携し、トライアル導入を経て、2016年5月から本格的に導入しています。2017年7月末時点で20人がこの制度を利用しています。



■ コンシューマ事業統括で働く倉光さん

私は自閉症スペクトラムとADHDのため、音声で入ってきた情報が脳に残りにくかったり、体質上非常に疲れやすいです。トライアル時よりこの働き方を活用し、現在は週に2回、主に入力作業を行っています。少しずつ次のステップの作業を任せてくれるため、自分に自信が付き、仕事にやりがいを感じています。この制度は、長時間勤務に難しさを感じていた私に新たな可能性をくれました。今後は、特技を生かしてさらに挑戦したいです。

■ 倉光さん受け入れ部署

コンシューマ事業統括 コンシューマ営業統括 カスタマーケア&オペレーション本部
管理統括部 債権回収部 回収サポート課

ルーチン業務の拡大により、人材不足となっていたことがショートタイムワーク制度を導入するきっかけとなりました。

ショートタイムスタッフ*の皆さんにとって、はじめは新しい環境のもとで第一歩を踏み出すことへの不安が大きかったと思います。しかし、仕事に対する責任感や行動力には頭が下がる思いで、今では一人ひとりが貴重な戦力となっています。

*ショートタイムワーク制度利用者





■ 共同で 施策を推進

東京大学
先端科学技術研究センター
人間支援工学分野
近藤 武夫 准教授



超短時間雇用モデルにより、障がいなどのある人々にとっては、通常の職場でのインクルーシブな就労と社会参加機会が拡大します。企業にとっては、職務の構造化や担当業務の明確化を通じた生産性の向上、多様性への理解の拡大が望めます。さまざまな地域や企業で、新しい雇用の選択肢として実践が広がることを期待しています。

■ 超短時間雇用モデル 導入自治体

川崎市健康福祉局
障害者雇用・就労推進課
平井 恭順さん



川崎市は、ダイバーシティのまちを目指しています。本事業は、法定雇用率の対象とならない障がい者等の働き方に対して可能性を求めています。本人には自信回復の第一歩、企業には多様な労働力を活用する場となっています。本取り組みを、さらに多くのフィールドで展開し、誰にとってもやさしいまちづくりにつながればと考えています。

Smart & Fun!

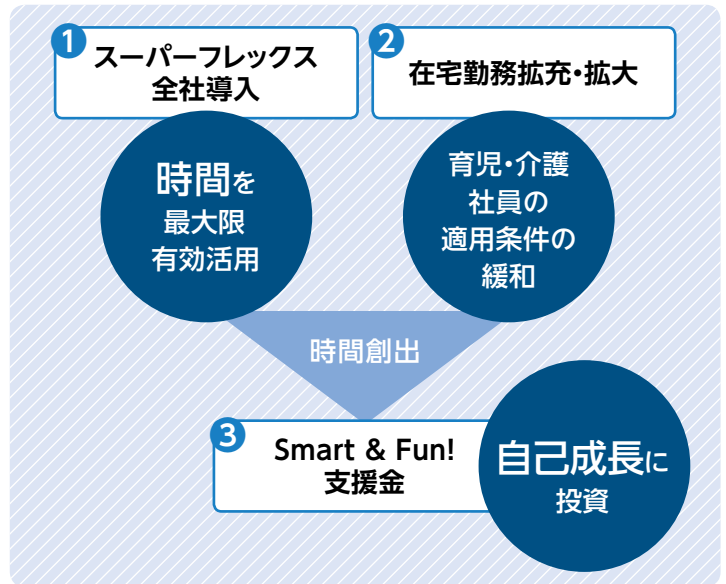
ITでスマートに楽しく!

Smart & Fun!

ITを駆使して、
社員がよりスマートに
仕事を楽しむ

「Smart & Fun!」の実現に向けて

ソフトバンクでは、「Smart & Fun!」のスローガンのもと、働き方改革に積極的に取り組んでいます。ITやAI(人工知能)を駆使して全社員がスマートに楽しく仕事をすることで、イノベティブでクリエイティブな企業として成長し続けることを目指します。



① スーパーフレックスタイム制

従来の「朝10時から夕方4時まで勤務」などのコアタイムを撤廃し、業務状況などに応じて始業時刻・終業時刻を日単位で変更することが可能になりました。組織・個人としてメリハリをつけて効率よく働くことで成果の最大化を図ります。約1万人の社員が対象です。

② 在宅勤務制度

スマートフォンやタブレットをはじめとするITをフル活用して、在宅でも勤務ができる環境づくりを進めています。育児・介護で勤務時間に制約がある従業員などを対象に、週3回まで在宅勤務が可能です。将来的には全社員への拡大を目指します。

③ Smart & Fun! 支援金*

ITやAIの活用による業務改善やメリハリのある働き方などにより創出できた時間を、自分自身の成長の機会に活用してもらうため、2017年4月より全社員を対象に毎月1万円の「Smart & Fun! 支援金」を支給しています。
※支給期間は2017年4月から2019年3月までの期間限定

「プレミアムフライデー※」を導入

ソフトバンクは「プレミアムフライデー」の趣旨に賛同し、2017年2月24日から、毎月最終金曜日は15時を退社奨励時間とする取り組みを開始しました。約1万6千人が対象となります。

プレミアムフライデーの日は、汐留本社25階社員食堂「Festa」において15時から特別メニューが用意され、業務を終えた社員でにぎわっています。

※月末の金曜日に早めに仕事を切り上げ、買い物や飲食、旅行への消費喚起を促すという経済産業省と一般社団法人日本経済団体連合会(経団連)が提唱する新しい取り組み



メガソーラー発電・風力発電

自然エネルギーの普及で子どもたちに豊かな社会を

SBエナジーでは、安心・安全かつ持続的に供給可能な自然エネルギーの普及を積極的に推進しています。

メガソーラー発電では、2017年には全国4カ所で運転を開始し、2017年8月1日現在、全国で29カ所(32基)のメガソーラー発電所を運営しています。また、風力発電では、2016年にSBエナジー初の風力発電所「ウインドファーム浜田」で、風力発電機29基が運転を開始しています。

SBエナジーは、子どもたちに誇れる豊かな社会の実現のために、今後も再生可能エネルギーの普及・拡大に努めます。

- ①ソフトバンク鹿児島湧水ソーラーパーク
(2017年6月1日運転開始)
- ②ソフトバンク潮来ソーラーパーク
(2017年1月10日運転開始)
- ③ソフトバンク浜松中開ソーラーパーク
(2017年2月1日運転開始)



自然でんき

おうちのでんきで、森を守ろう

2017年2月に、環境保全や再生可能エネルギーに関心のあるお客さま向けのサービスとして、「自然でんき」を北海道電力エリア、東京電力エリア、関西電力エリアで開始しました。

「自然でんき」は、ソフトバンクグループで再生可能エネルギーでの発電事業を行うSBエナジーなどが発電した電気を活用して、SBパワーが電力を供給し、FIT電気*(再生可能エネルギー)比率50%以上の維持を目標としています。

また、使った分だけ電気料金が発生する基本料金なしのシンプルな料金体系や、SBパワーが1契約につき50円/月を拠出して環境保全団体へ支援を行うことで、お客さまが自己負担なく環境保全に貢献できることが特徴です。

*SBパワーがこの電気を調達する費用の一部は、当社のお客さま以外の方も含め、電気をご利用の全ての皆さまから集めた賦課金により賄われており、この電気のCO₂排出量については、火力発電なども含めた全国平均の電気のCO₂排出量を持った電気として扱われます

自然でんき



3Rの取り組み

循環型社会の実現を目指して

ソフトバンクでは、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取り組みを行っています。

● リデュース(ゴミの量を減らす)

廃棄物発生を抑制するために、店頭の販売ツールを見直すなど、携帯情報端末販売時の紙資源使用量の削減に取り組んでいます。

● リユース(繰り返し使う)

機種変更などの際、それまで利用されていた故障していない携帯電話やタブレットの下取りを推進しています。下取りした端末は、再整備した上で主に新興国で再利用されます。

● リサイクル(再度資源として生かす)

携帯電話事業者、メーカー、故障の有無を問わず、使用済み携帯電話の本体、電池パック、充電器類、USIMカードなどの回収に取り組んでいます。2016年度は使用済み携帯電話本体を約113万台回収しました。



災害訓練・災害時安心サービス

通信インフラを担う企業としての責任

ソフトバンクでは、ライフラインである通信インフラを担う事業者としての責任を自覚し、毎年春と秋の2回、大地震・火災などを想定した総合防災訓練を実施しています。2017年3月には、東海地方で大規模地震が発生したことを想定して、災害対策本部の運営および通信の復旧に向けた一連の動作を確認しました。秋には首都圏直下型地震を想定しての訓練を予定しています。

また、災害や防災に関する情報の提供や災害が発生した際の情報通知、お客さまのコミュニケーション手段を確保するためのサービスを提供しています。



Yahoo! 天気

天気に関するあらゆる情報の紹介や、警報・注意報や台風情報などをお知らせ。



Yahoo! 防災速報

緊急地震速報や津波予報、豪雨予報、避難情報などをプッシュ通知でいち早くお知らせ。



災害用伝言板 災害用音声 お届けサービス

大規模災害発生時などにお客さまの安否情報確認に利用できる伝言板や音声お届けサービス。



考えよう、ケータイ・あんしんフィルター

子どもたちが安心・安全にスマートフォンを利用するために

ソフトバンクは、携帯電話やインターネットを利用する際のトラブルから子どもを守るための取り組みに力を入れています。

「考えよう、ケータイ」シリーズは、携帯電話やスマートフォンの安心・安全な使い方を青少年に指導するための映像付き教材です。ネットでのいじめや歩きスマホなど社会問題となっているテーマに焦点をあて、子どもたちが問題点を主体的に考え、話し合うことで、自らの携帯電話、インターネットの利用方法を見直すことができる内容となっています。主に学校などの教育現場に無償で配布しています。

「あんしんフィルター」は、青少年が安全にインターネットを楽しむことを手助けするフィルタリングサービスです。不適切なアダルトサイトや違法サイトへのアクセスを制限し、高額請求や犯罪への接触を未然に防ぎます。使用年齢に合わせた学齢別の設定を提供しています。



対象：iPhone、iPad、4Gスマートフォン、タブレット

「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」
教材DVDのお申し込みはこちら



アーム

テクノロジーを活用して
貧困地域の課題解決に貢献



アーム社は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に基づき、テクノロジーを活用した世界の貧困地域の課題解決に向けて、デザインやライセンスなどのノウハウを提供しています。自給自足の農村で生活に必要な知識を普及させる目的で作られた「トーキング・ブック」の利用促進や、生体認証機能を活用し医療記録にアクセスすることができる「シンプリンツ」の提供などを行っています。

また2015年には、UNICEFとともに「ウェアラブル・フォー・グッドコンテスト」を創設しました。最優秀賞を受賞した、子どもの医療記録を管理するネックレス「クシ・ベイビー」は、インドにて約15,000名の子どもたちの予防接種記録の管理に成功しています。



クシ・ベイビー



シンプリンツ

スプリント

インターネット環境を
無償で配布し若者をサポート



スプリントとスプリント財団は、家庭でインターネットにアクセスできる環境がない全米の高校生を対象に、無料の通信環境と情報端末を100万個無償で配布する「1ミリオンプロジェクト」を2017年8月より開始しました。

アメリカでは、約70%の高校で通信環境が必要となる課題が出されるにもかかわらず、いまだ約500万の子育て世帯で家庭のインターネット環境がありません。この取り組みにより、家庭にインターネット環境がないことで、自宅学習や大学進学のための情報収集や出願、奨学金補助などに困難を抱える若者をサポートし、自ら道を切り開き未来に向かって進むことを後押しします。



ブライトスター

「2017年 世界で
最も倫理的な企業」に選出



ブライトスターは、企業倫理の普及に努める米国の研究機関Ethisphere Instituteが選ぶ「2017年世界で最も倫理的な企業」に初めて選出されました。

この賞は、社員への倫理規定の定着や企業のCSR活動などを通じて、企業の倫理基準策定と習得の促進に長けている企業が受賞します。本年は19カ国52の産業から124の企業を選出され、通信業界からはブライトスターを含む3企業のみが選ばれました。

今回の受賞は、社員一人ひとりが日々の業務の中で倫理的な行動をし、継続的な社会貢献、コンプライアンスの遵守を行ってきたことが評価されたものです。受賞を通じ、ブライトスターの高い倫理基準を世の中に伝えることができました。



※【社名】の明記のないものはソフトバンクグループ株式会社、およびソフトバンク株式会社が実施

項目	2016年度実績	評価	2017年度予定
経営全般			
CSR基本方針の策定	●グループ全体のCSRの指針として「ソフトバンクグループCSR基本方針」を開示	A	●グループ全体のCSRの指針として「ソフトバンクグループCSR基本方針」を開示
体制、意思決定の過程および構造	●ソフトバンクグループの取締役1名を「グループCSR推進責任者」、グループ主要各社の役員を「CSR推進責任者」に選任 ●年2回の「グループCSR連絡会」を通じて情報共有・交換の実施	A	●ソフトバンクグループの取締役1名を「グループCSR推進責任者」、グループ主要各社の役員を「CSR推進責任者」に選任 ●年2回の「グループCSR連絡会」を通じて情報共有・交換の実施
CSR重要課題の特定	●各社CSR重要課題を特定し実績と目標を公開(ISO26000批准)	A	●各社CSR重要課題を特定し実績と目標を公開(ISO26000批准)
コーポレート・ガバナンス	●社内外の監査部門による内部統制システムの検証・評価を実施	A	●社内外の監査部門による内部統制システムの検証・評価を実施
社員との関係			
雇用対策	●役割と成果、能力に応じた公正な評価を実施 ●男女、年齢、学歴、国籍などに関係なく実力ある人材を採用、登用 ●年1回のESサーベイ実施と改善の推進 ●育児支援制度の充実 ●障がい者雇用の推進 ●東京都地域展開型処遇改善事業への取り組み 【ヤフー】 ●雇用の基本方針 ●ヤフーバリューと360度のバリュー評価 ●育児勤務制度の充実 ●障がい者雇用への取り組み ●柔軟な働き方 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●年1回のESサーベイ実施と改善の推進 【SBネットワーク】 ●有期雇用社員の契約期間無期化(職種限定正社員導入) 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 ●年1回のESサーベイ実施と改善の推進	A	●役割と成果、能力に応じた公正な評価を実施 ●男女、年齢、学歴、国籍などに関係なく実力ある人材を採用、登用 ●年1回のESサーベイ実施と改善の推進 ●育児支援制度の充実 ●障がい者雇用の推進 ●東京都地域展開型処遇改善事業への取り組み 【ヤフー】 ●雇用の基本方針 ●ヤフーバリューと360度のバリュー評価 ●育児勤務制度の充実 ●障がい者雇用への取り組み ●柔軟な働き方 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●年1回のESサーベイ実施と改善の推進 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 ●年1回のESサーベイ実施と改善の推進
労働条件、社会保障	●ワークライフバランスのための各種制度を継続 — 定時退社デーの推進 — プレミアムフライデーの導入 — フレックスタイム制度の活用 — 各種休暇制度の利用推進 ● 過重労働対策 ● 災害時の安否確認システム ● 「ファミリーデIFY16」の開催 【ヤフー】 ● 働きがいのある職場環境 ● 柔軟な働き方(どこでもオフィス) ● 仕事と家庭との両立サポート 【ソフトバンク・テクノロジー】 ● 「ファミリーデIFY16」の開催 ● 定時退社デーの推進 ● フレックスタイム制、スーパーフレックスタイム制の導入 ● プレミアムフライデーの実施 ● 有給休暇取得奨励日の設定 【福岡ソフトバンクホークス】 ● 休暇取得推進週間の設定(28日間) ● 社員レクレーションの開催 【SBネットワーク】 ● 401kセミナーの開催 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 ● 定時退社デーの推進 ● フレックスタイム制の導入 【IDCフロンティア】 ● 1/3休暇制度 ● 朝型勤務制度 ● フルチャージ入社制度 ● フルサポート勤務制度	A	●ワークライフバランスのための各種制度を継続 — 定時退社デーの推進 — プレミアムフライデーの実施 — フレックスタイム制に加え、コアタイムなしのスーパーフレックスタイム制度の活用 — 育児・介護等の対象者に対する在宅勤務制度の活用 — 各種休暇制度の利用推進 ● 過重労働対策 ● 災害時の安否確認システム ● 「ファミリーデIFY17」の開催 【ヤフー】 ● 働きがいのある職場環境 ● 柔軟な働き方(どこでもオフィス) ● 仕事と家庭との両立サポート ● さらなる勤務制度 【ソフトバンク・テクノロジー】 ● 「ファミリーデIFY17」の開催 ● 定時退社デーの推進 ● フレックスタイム制、スーパーフレックスタイム制の導入 ● プレミアムフライデーの実施 ● 有給休暇取得奨励日の設定 【福岡ソフトバンクホークス】 ● 休暇取得推進週間の設定(28日間) ● 社員レクレーションの開催 【SBネットワーク】 ● 401kセミナーの開催 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 ● 定時退社デーの推進 ● フレックスタイム制の導入 【IDCフロンティア】 ● 1/3休暇制度 ● 朝型勤務制度 ● フルチャージ入社制度 ● フルサポート勤務制度
コンプライアンス	●コンプライアンス・ホットライン(内部通報制度)の運用 ●コンプライアンス研修の実施 — グループ会社の役員・経営幹部向け研修の実施 ●コンプライアンス・サーベイ(意識調査)の実施 ●コンプライアンス・セルフチェックの実施 【ヤフー】 ●コンプライアンス体制構築、研修とセルフチェックの実施 ●部門ごとの専門研修 ●eラーニングによる浸透を測定 ●コンプライアンスホットライン(内部通報制度)の整備 【福岡ソフトバンクホークス】 ●反社会的勢力断絶への取り組み ●委託者向けコンプライアンス講習の実施 ●全管理職向けアンガーマネジメント研修の実施	A	●コンプライアンス・ホットライン(内部通報制度)の運用 ●コンプライアンス研修の実施 — グループ会社の役員・経営幹部向け研修の実施 — グループ会社の従業員向けコンプライアンス浸透月間の実施 ●コンプライアンス・サーベイ(意識調査)の実施 ●コンプライアンス・セルフチェックの実施 【ヤフー】 ●コンプライアンス体制構築、研修とセルフチェックの実施 ●部門ごとの専門研修 ●eラーニングによる浸透を測定 ●コンプライアンスホットライン(内部通報制度)の整備 【福岡ソフトバンクホークス】 ●反社会的勢力断絶への取り組み ●委託者向けコンプライアンス講習の実施 ●全管理職向けアンガーマネジメント研修の実施
安全衛生	●健全な職場環境づくり、安全衛生体制の継続 ●こころからの相談窓口(ウェルネスセンター) ●マルチデバイスで利用可能なシステムにてストレスチェックを実施 ●ホットライン ●急患発生時の連絡フロー ●メンタル面の予防・ケア ●マッサージルームの設置 ●職場内の身近な相談役(ピアサポーター)設定 ●カラダサポートアプリおよびスマート体組成計を活用した健康意識向上の推進	A	●健全な職場環境づくり、安全衛生体制の継続 ●こころからの相談窓口(ウェルネスセンター) ●マルチデバイスで利用可能なシステムにてストレスチェックを実施 ●ホットライン ●急患発生時の連絡フロー ●メンタル面の予防・ケア ●マッサージルームの設置 ●職場内の身近な相談役(ピアサポーター)設定 ●カラダサポートアプリおよびスマート体組成計を活用した健康意識向上の推進

<評価基準> A+ : 目標より高い成果が得られた
 A : 取り組みの成果が得られた
 B : 取り組みを行ったが目標の成果を得るに至らなかった
 C : 成果が得られなかった、または取り組みなかった

項目	2016年度実績	評価	2017年度予定		
安全衛生	【ヤフー】 ●健康の保持増進 ●安全衛生体制の整備 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●ホットライン ●ストレスチェックの実施	【SBアットワーク】 ●応急手当/AED講習会 【IDCフロンティア】 ●アーリーバードプログラム ●ウォーキングプログラム ●KENKO企業会への参加 ●東京都スポーツ推進企業認定	A	【ヤフー】 ●健康の保持増進 ●安全衛生体制の整備 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●ホットライン ●ストレスチェックの実施	【SBアットワーク】 ●応急手当/AED講習会 ●禁煙プログラム 【IDCフロンティア】 ●アーリーバードプログラム ●ウォーキングプログラム ●KENKO企業会への参加
人材育成・教育	●社長自身による後継者育成プログラム(ソフトバンクアカデミア) ●社員自ら選択できる豊富な研修プログラム(ソフトバンクユニバーシティ) ●社員からの提案を広く募集する仕組み(ソフトバンクイノベーションチャーター、社会に貢献するビジネスアイデアコンテスト) ●勉強会やメンターサポート等により新規事業実現を目指すプログラム(イノベーションチャーター・ラボ) ●全社英語力向上施策の推進 ●資格取得支援制度 ●社員同士の知恵や知識をシェアするプログラム(知恵マルシェ) ●社員が自ら講師となり研修を提供する制度(ICI) 【ヤフー】 ●従業員への各種研修制度 ●黒帯制度 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●資格取得奨励金制度 ●SBT塾の開催 ●社員からの提案を広く募集する仕組み(社内ビジネスコンテスト) 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 ●資格取得奨励金制度	●社長自身による後継者育成プログラム(ソフトバンクアカデミア) ●社員自ら選択できる豊富な研修プログラム(ソフトバンクユニバーシティ) ●社員からの提案を広く募集する仕組み(ソフトバンクイノベーションチャーター、社会に貢献するビジネスアイデアコンテスト) ●勉強会やメンターサポート等により新規事業実現を目指すプログラム(イノベーションチャーター・ラボ) ●全社英語力・統計力・テクノロジー知識/スキルの向上施策の推進 ●資格取得支援制度 ●社員同士の知恵や知識をシェアするプログラム(知恵マルシェ) ●社員が自ら講師となり研修を提供する制度(ICI) 【ヤフー】 ●従業員への各種研修制度 ●黒帯制度 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●資格取得奨励金制度 ●SBT塾の開催 ●社員からの提案を広く募集する仕組み(社内ビジネスコンテスト) 【福岡ソフトバンクホークス】 ●ホークス新規事業提案制度の設置 ●元選手に対するビジネス研修の実施 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 ●資格取得奨励金制度	A	●社長自身による後継者育成プログラム(ソフトバンクアカデミア) ●社員自ら選択できる豊富な研修プログラム(ソフトバンクユニバーシティ) ●社員からの提案を広く募集する仕組み(ソフトバンクイノベーションチャーター、社会に貢献するビジネスアイデアコンテスト) ●勉強会やメンターサポート等により新規事業実現を目指すプログラム(イノベーションチャーター・ラボ) ●全社英語力・統計力・テクノロジー知識/スキルの向上施策の推進 ●資格取得支援制度 ●社員同士の知恵や知識をシェアするプログラム(知恵マルシェ) ●社員が自ら講師となり研修を提供する制度(ICI) 【ヤフー】 ●従業員への各種研修制度 ●黒帯制度 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●資格取得奨励金制度 ●SBT塾の開催 ●社員からの提案を広く募集する仕組み(社内ビジネスコンテスト) 【福岡ソフトバンクホークス】 ●ホークス新規事業提案制度の設置 ●元選手に対するビジネス研修の実施 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 ●資格取得奨励金制度	
環境					
環境マネジメント	●ISO14001 規格認証の継続	A	●ISO14001 規格認証の継続		
資源利用量	●オフィス環境目標 ー電力消費量 2010年度比 ▲34%(本社) 【アイティメディア】 ●スマートジャパン(節電・蓄電・発電に取り組む企業の課題解決サイト)運営 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●ファシリティ管理システムの導入による電力使用量の可視化と、集中管理を行い、エネルギー消費量削減施策を実施 【ヤフー】 ●オフィス用紙をカーボンオフセットし約93,42t(トン)のCO ₂ を削減 ●データセンターでのエネルギー使用効率の改善 【福岡ソフトバンクホークス】 ●お客さまゾーンと一般ゾーンとを分け、温度管理によるエネルギー消費量の削減。運転時間・エリアの見直しによる無駄の削減	A	●オフィス環境目標 ー電力消費量 2010年度比 ▲25%(本社) 【アイティメディア】 ●スマートジャパン(節電・蓄電・発電に取り組む企業の課題解決サイト)運営 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●ファシリティ管理システムの導入による電力使用量の可視化と、集中管理を行い、エネルギー消費量削減施策を実施 【ヤフー】 ●オフィス用紙をカーボンオフセットし約93,42t(トン)のCO ₂ を削減 ●データセンターでのエネルギー使用効率の改善 【福岡ソフトバンクホークス】 ●お客さまゾーンと一般ゾーンとを分け、温度管理によるエネルギー消費量の削減。運転時間・エリアの見直しによる無駄の削減		
環境保護	●環境保全活動を継続的に実践 ーペーパーレス徹底 ーグリーン調達ガイドライン遵守の徹底 ー斉消灯システムの継続運用 【ヤフー】 ●環境保全に向けた次世代データセンターの建設 ●ペーパーレス化の促進 【パリューコマース】 ●赤城自然園の協賛企業として活動支援 【SBエナジー】 ●自然エネルギーの推進 ●「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」での羊・ヤギによる除草試験の実施 【IDCフロンティア】 ●呼吸するデータセンター	A	●環境保全活動を継続的に実践 ーペーパーレス徹底 ーグリーン調達ガイドライン遵守の徹底 ー斉消灯システムの継続運用 【ヤフー】 ●ペーパーレス化の促進 【パリューコマース】 ●赤城自然園の協賛企業として活動支援 【SBエナジー】 ●自然エネルギーの推進 ●「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」での羊・ヤギによる除草試験の実施 【IDCフロンティア】 ●呼吸するデータセンター		
資源の再利用	●ケータリサイクル ●ゴミの分別 ●使用済み文書の専用リサイクルボックスの活用 【ヤフー】 ●リデュース・リユース・リサイクルを推進(ゴミ15分別、専用リサイクルボックスの活用) 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●ペットボトルキャップの回収 【福岡ソフトバンクホークス】 ●ビン・缶などバックヤード排出ゴミの100%再生利用の継続およびお客さまゾーンの分別回収の継続	A	●ケータリサイクル ●ゴミの分別 ●使用済み文書の専用リサイクルボックスの活用 【ヤフー】 ●リデュース・リユース・リサイクルを推進(ゴミ15分別、専用リサイクルボックスの活用) 【ソフトバンク・テクノロジー】 ●ペットボトルキャップの回収 【福岡ソフトバンクホークス】 ●ビン・缶などバックヤード排出ゴミの100%再生利用の継続およびお客さまゾーンの分別回収の継続		
教育および意識向上	●「産業廃棄物の適正処理」「電子マニフェスト」などについてのeラーニングを実施し、関連法律・業務知識の向上 ●使用済み携帯電話の処理に関する社員の知識向上 【ヤフー】 ●スポンサードコンテンツ社会貢献版 ●Yahoo!知恵袋(社会貢献の専門家) 【アイティメディア】 ●スマートジャパンにて節電情報をウェブ上で公開 【SBエナジー】 ●自然エネルギー・環境教育 ●「未来×エネルギー プロジェクト」実施(10校)・とっとり自然環境館運用 ●SBエナジーコンテンツサイト「みるみるわかるEnergy」展開 【サイバユニバーシティ】 ●教員が講師を担当し、地方創生およびIoT・AIをテーマにした無料セミナーを開催。収録動画を公開講座としてウェブで公開	A	●「産業廃棄物の適正処理」「フロン」の適正管理」「使用済み携帯電話の処理」などについてのeラーニングを実施し、関連法律・業務知識の向上 【ヤフー】 ●スポンサードコンテンツ社会貢献版 ●Yahoo!知恵袋(社会貢献の専門家) 【アイティメディア】 ●スマートジャパンにて節電情報をウェブ上で公開 【SBエナジー】 ●自然エネルギー・環境教育 ●「未来×エネルギー プロジェクト」実施(10校)・とっとり自然環境館運用 ●SBエナジーコンテンツサイト「みるみるわかるEnergy」展開		

CSR活動報告 2016年度実績と2017年度予定

項目	2016年度実績	評価	2017年度予定
ビジネスパートナーとの関係			
公正な競争	<ul style="list-style-type: none"> ●リバースオークション(電子入札)の実施 ●サプライヤー倫理行動規範遵守の徹底 ●お取引先との公正で良好な取引関係の維持 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ステークホルダーとのコミュニケーション <p>【IDCフロンティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テクニカルパートナーアワード実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●リバースオークション(電子入札)の実施 ●サプライヤー倫理行動規範遵守の徹底 ●お取引先との公正で良好な取引関係の維持 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ステークホルダーとのコミュニケーション <p>【IDCフロンティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●テクニカルパートナーアワード実施
お客さまとの関係			
消費者の安全保護	<ul style="list-style-type: none"> ●情報リテラシー教育「考えよう、ケータイ」シリーズの推進 ●携帯会社共通のフィルタリングアプリ「あんしんフィルター」の提供 ●歩きスマホ、公共の場所での配慮点などケータイマナーについての注意喚起 ●歩きスマホ抑止アプリケーション「STOP歩きスマホ」の提供 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●迷惑メール対策 ●ログイン強化への取り組み ●ヤフオク! 知的財産権保護ガイド ●インターネットに関する公的会議への参加と提言活動 <p>【福岡ソフトバンクホークス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●興行開催時における緊急事態への備え ●福岡市との災害協定の締結検討 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●情報リテラシー教育「考えよう、ケータイ」シリーズの推進 ●携帯会社共通のフィルタリングアプリ「あんしんフィルター」の提供 ●歩きスマホ、公共の場所での配慮点などケータイマナーについての注意喚起 ●歩きスマホ抑止アプリケーション「STOP歩きスマホ」の提供 ●携帯電話の使用に関する安全啓発活動 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●迷惑メール対策 ●ログイン強化への取り組み ●ヤフオク! 知的財産権保護ガイド ●インターネットに関する公的会議への参加と提言活動 <p>【福岡ソフトバンクホークス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●興行開催時における緊急事態への備え ●福岡市との災害協定の締結検討
消費者支援、苦情解決	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さま満足度向上のための各種施策を継続 —コールセンター利用者、店舗来店者へのお客さまアンケート実施と活用 —プロスタッフ認定制度 —My SoftBankの拡充・改善 ●障がい者向けのIT支援推進 —障がい児の学習・生活のためのIT支援の研究 ●障がい者向け支援の強化・推進 ●ソフトバンク手話教室の提供 ●迷惑電話チェッカー <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サポート体制の構築 ●アクセシビリティ基本方針 ●ヘルプページの充実 ●広告審査体制の充実 <p>【福岡ソフトバンクホークス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サービス向上プロジェクトの活動実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さま満足度向上のための各種施策を継続 —コールセンター利用者、店舗来店者へのお客さまアンケート実施と活用 —プロスタッフ認定制度 —コールセンター利用者、店舗来店者へのお客さまアンケート結果をクルー評価へ反映 —コミュニケーションチャネル拡充(LINE/チャットサポート) —My SoftBankの拡充・改善 ●障がい者向けのIT支援推進 —障がい児の学習・生活のためのIT支援の研究 ●障がい者向け支援の強化・推進 ●ソフトバンク手話教室の提供 ●迷惑電話チェッカー <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サポート体制の構築 ●お客さまのニーズをサービスに生かす体制づくり ●アクセシビリティ基本方針 ●ヘルプページの充実 ●広告審査体制の充実 <p>【福岡ソフトバンクホークス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サービス向上プロジェクトの活動実施
消費者データ保護およびプライバシー	<ul style="list-style-type: none"> ●規格の認証取得・継続 ※ISO27001およびJISQ15001認証の維持継続 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ユーザー情報の保護 ●ISMS (Information Security Management System) 認証の取得 ●ISO15408認証の取得 ●PCI DSS認定の取得 <p>【ソフトバンク・テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●規格の認証取得・継続 (ISMS認証、プライバシーマーク、オフィスセキュリティマーク認証、ISO/IEC 20000) <p>【パリューコマース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●規格の認証運用 (プライバシーマーク、TRUSTe) <p>【SBネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●規格の認証取得・継続 (ISO9001、ISO20000、ISO27001、プライバシーマーク) <p>【ソフトバンク・ペイメント・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ISMS認証の取得 ●PCI DSS認定の取得 ●プライバシーマーク認証の取得 <p>【リアライズ・モバイル・コミュニケーションズ、SBヒューマンキャピタル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プライバシーマーク運用 (JISQ15001:2006) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●規格の認証取得・継続 ※ISO27001およびJISQ15001認証の維持継続 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ユーザー情報の保護 ●ISMS (Information Security Management System) 認証の取得 ●ISO15408認証の取得 ●PCI DSS認定の取得 <p>【ソフトバンク・テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●規格の認証取得・継続 (ISMS認証、プライバシーマーク、オフィスセキュリティマーク認証、ISO/IEC 20000) <p>【パリューコマース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●規格の認証運用 (プライバシーマーク、TRUSTe) ●ISMS認証の取得 <p>【SBネットワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●規格の認証取得・継続 (ISO9001、ISO20000、ISO27001、プライバシーマーク) <p>【ソフトバンク・ペイメント・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ISMS認証の取得 ●PCI DSS認定の取得 ●プライバシーマーク認証の取得 <p>【リアライズ・モバイル・コミュニケーションズ、SBヒューマンキャピタル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プライバシーマーク運用 (JISQ15001:2006)
教育および意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ教育、eラーニングを全従業員へ実施 —セキュリティメールマガジンの定期的な発行 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティルールの策定と周知徹底 ●ステークホルダーダイアログ ●eラーニングによる浸透と測定 ●部門ごとの専門研修 ●コンプライアンスのセルフチェック <p>【ソフトバンク・テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ教育、eラーニングを全従業員へ実施 <p>【ソフトバンク・ペイメント・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ教育、eラーニングを全従業員へ実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ教育、eラーニングを全従業員へ実施 —セキュリティメールマガジンの定期的な発行 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティルールの策定と周知徹底 ●ステークホルダーダイアログ ●eラーニングによる浸透と測定 ●部門ごとの専門研修 ●コンプライアンスのセルフチェック <p>【ソフトバンク・テクノロジー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ教育、eラーニングを全従業員へ実施 <p>【ソフトバンク・ペイメント・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ教育、eラーニングを全従業員へ実施
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時を想定した訓練の実施 ●防災教育eラーニングの実施 ●全社的なリスクマネジメントをグループ各社へ拡大・推進 ●災害対策の検証や運用の定着 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ体制 ●リスク管理 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時を想定した訓練の実施 ●防災教育eラーニングの実施 ●全社的なリスクマネジメントをグループ各社へ拡大・推進 ●災害対策の検証や運用の定着 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報セキュリティ体制 ●サイバー攻撃に対する多層防御 ●リスク管理 ●事故報告システムの活用
必要不可欠なサービスへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークセンターの強化、蓄電池や発電機による基地局の24時間化(災害対策への取り組み) ●BCP対策を推進 —移動基地局車・可搬型基地局・移動電源車・携帯発電機・貸出用携帯や衛星携帯電話などを全国各地に配備 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●非常災害対策指針の改定 ●災害時を想定した訓練の実施 ●サービスを止めない、データを壊さない(可用性、完全性) <p>【福岡ソフトバンクホークス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●顧客統合プロジェクトの発定、新ポイントシステム「タカポイント」の構築 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークセンターの強化、蓄電池や発電機による基地局の24時間化(災害対策への取り組み) ●BCP対策を推進 —移動基地局車・可搬型基地局・移動電源車・携帯発電機・貸出用携帯や衛星携帯電話などを全国各地に配備 <p>【ヤフー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●非常災害対策指針の改定 ●災害時のサービス優先定義の見直し ●災害時を想定した訓練の実施 ●サービスを止めない、データを壊さない(可用性、完全性) <p>【福岡ソフトバンクホークス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●顧客統合プロジェクトの発定、新ポイントシステム「タカポイント」の運用

項目	2016年度実績	評価	2017年度予定
地域社会との関係			
コミュニティへの参画	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの非営利活動団体が活用できる募金プラットフォーム「かざして募金」の利用促進 【ヤフー】 <ul style="list-style-type: none"> ●会社見学の受け入れ ●保護者や学校と協働する研究会活動 ●小中高生を対象とした特別授業 【福岡ソフトバンクホークス】 <ul style="list-style-type: none"> ●地方独立行政法人福岡市立こども病院への慰問実施 ●福岡中央特別支援学校への訪問実施 ●小学生の野球観戦招待と保護者優待事業(野球を通じた親子コミュニケーションの創出) ●ピンクリボン運動活動の実施 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 <ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉法人福岡県・佐賀県社会福祉協議会へのメセナシート寄付 【SBクリエイティブ】 <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人日本科学協会への図書寄贈 【SBヒューマンキャピタル】 <ul style="list-style-type: none"> ●プロスポーツ選手のセカンドキャリア支援事業 ●鳥取県八頭郡八頭町の地方再生事業(準Lab.) ●フリーランスママによる在宅型のマーケティング・クリエイティブサービス「Mom's Lab」 【IDCフロンティア】 <ul style="list-style-type: none"> ●早稲田大学IPS・北九州コンソーシアムに参画 ●ICT学習を支援するアカデミックプログラムを福岡市で実施 【サイバーユニバーシティ】 <ul style="list-style-type: none"> ●コーポレート奨学生制度の継続 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの非営利活動団体が活用できる募金プラットフォーム「かざして募金」の利用促進 【ヤフー】 <ul style="list-style-type: none"> ●会社見学の受け入れ ●保護者や学校と協働する研究会活動 ●小中高生を対象とした特別授業 【福岡ソフトバンクホークス】 <ul style="list-style-type: none"> ●地方独立行政法人福岡市立こども病院への慰問実施 ●福岡中央特別支援学校への訪問実施 ●小学生の野球観戦招待と保護者優待事業(野球を通じた親子コミュニケーションの創出) ●ピンクリボン運動活動の実施 【ソフトバンク・ペイメント・サービス】 <ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉法人福岡県・佐賀県社会福祉協議会へのメセナシート寄付 【SBクリエイティブ】 <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人日本科学協会への図書寄贈 【SBヒューマンキャピタル】 <ul style="list-style-type: none"> ●プロスポーツ選手のセカンドキャリア支援事業 ●鳥取県八頭郡八頭町の地方再生事業(準Lab.) ●岡山県新見市の創生支援事業 ●フリーランスママによる在宅型のマーケティング・クリエイティブサービス「Mom's Lab」 【IDCフロンティア】 <ul style="list-style-type: none"> ●早稲田大学IPS・北九州コンソーシアムに参画 ●ICT学習を支援するアカデミックプログラムを福岡市で実施 ●ヤフー障がい者アスリートパートナー 【サイバーユニバーシティ】 <ul style="list-style-type: none"> ●コーポレート奨学生制度の継続
地域社会との関係	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラミング教育や社会課題の解決を目的として人型ロボット「Pepper」を3年間無償で貸し出す「Pepper 社会貢献プログラム」 —ソーシャルチャレンジ賞出団体選定 —スクールチャレンジ先行導入校での試験運用開始 ●スペシャルオリンピックス日本スポンサー 【ヤフー】 <ul style="list-style-type: none"> ●官公庁および自治体主催イベント・会議への参加 ●石巻復興ベースを地域へ開放 ●スペシャルオリンピックス日本に協賛 【SBエナジー】 <ul style="list-style-type: none"> ●発電所建設に伴う、地元への説明会実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラミング教育や社会課題の解決を目的として人型ロボット「Pepper」を3年間無償で貸し出す「Pepper 社会貢献プログラム」 —ソーシャルチャレンジの実施 —スクールチャレンジの実施 ●ICTを活用した地域課題の解決 ●スペシャルオリンピックス日本スポンサー 【ヤフー】 <ul style="list-style-type: none"> ●官公庁および自治体主催イベント・会議への参加 ●石巻復興ベースを地域へ開放 ●スペシャルオリンピックス日本に協賛 【SBエナジー】 <ul style="list-style-type: none"> ●発電所建設に伴う、地元への説明会実施 【IDCフロンティア】 <ul style="list-style-type: none"> ●中学生への北九州DCの見学会実施
被災地復興支援			
東日本大震災	<ul style="list-style-type: none"> ●携帯電話利用料金のオプションサービスとして毎月寄付ができる「チャリティホワイト」を提供 ●「TOMODACHIソフトバンク・リーダーシップ・プログラム」の実施 【ヤフー】 <ul style="list-style-type: none"> ●復興支援および震災の記憶を未来に残していくことを目的とした自転車イベント「ツール・ド・東北」の開催 ●東北地方の特産品をインターネットで販売する「東北エールマーケット」 ●インターネットを活用した継続的な被災地支援(Search for 3.11) 【アイティメディア】 <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付 【パリュー・コマース】 <ul style="list-style-type: none"> ●「ウェブヘルマーク」のアフィリエイトプログラムの提供による活動支援 【ベクター】 <ul style="list-style-type: none"> ●「ゲームの絆PROJECT」による公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付を継続 【福岡ソフトバンクホークス】 <ul style="list-style-type: none"> ●各球場に募金箱を設置 【SBクリエイティブ】 <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付 【SBプレイヤーズ】 <ul style="list-style-type: none"> ●子会社オッズ・パークによる公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付 【SBヒューマンキャピタル】 <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付 【IDCフロンティア】 <ul style="list-style-type: none"> ●「ツール・ド・東北」スポンサー 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●携帯電話利用料金のオプションサービスとして毎月寄付ができる「チャリティホワイト」を提供 ●「TOMODACHIソフトバンク・リーダーシップ・プログラム」の実施 【ヤフー】 <ul style="list-style-type: none"> ●復興支援および震災の記憶を未来に残していくことを目的とした自転車イベント「ツール・ド・東北」の開催 ●東北地方の特産品をインターネットで販売する「東北エールマーケット」 ●インターネットを活用した継続的な被災地支援(Search for 3.11) 【アイティメディア】 <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付 【パリュー・コマース】 <ul style="list-style-type: none"> ●「ウェブヘルマーク」のアフィリエイトプログラムの提供による活動支援 【ベクター】 <ul style="list-style-type: none"> ●「ゲームの絆PROJECT」による公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付を継続 【福岡ソフトバンクホークス】 <ul style="list-style-type: none"> ●3/11に監督・選手による募金よびかけ活動を実施 ●各球場に募金箱を設置 ●Kobo パーク宮城でのホークス戦に観戦招待実施 【SBクリエイティブ】 <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付 【SBヒューマンキャピタル】 <ul style="list-style-type: none"> ●公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付 【IDCフロンティア】 <ul style="list-style-type: none"> ●「ツール・ド・東北」スポンサー
熊本地震	<ul style="list-style-type: none"> ●被災地支援プロジェクト —人型ロボット「Pepper」を3カ月間避難所へ無償派遣 —ソフトバンクホークスOB選手による被災地の小学校での野球教室の実施 【ヤフー】 <ul style="list-style-type: none"> ●Yahoo!募金、Yahoo!基金を通じた募金 ●社員が現地に入りボランティア ●Y!ニュースでの情報発信 【福岡ソフトバンクホークス】 <ul style="list-style-type: none"> ●熊本・大分地域地震被災地への義援金の寄付 ●熊本・大分 地震災害復興支援プロジェクト「ファイト!九州」発足 —選手のユニフォームに「ファイト!九州」袖ワッペン着用 —募金活動の実施 —チャリティグッズの販売、一部売上金を寄付 —被災地訪問と野球教室の実施 —熊本と大分で被災された方約3,000名を試合観戦に招待 —「ファイト!九州」復興支援マッチの開催 —チャリティオークションの実施 【SBプレイヤーズ】 <ul style="list-style-type: none"> ●子会社さとふるによる、さとふる納税を活用した被災地域への緊急支援募金 【リアライズ・モバイル・コミュニケーションズ】 <ul style="list-style-type: none"> ●運営サイト「FOOTBALL FREEDOM」内にてチャリティオークションを実施、義援金として熊本県へ寄付 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●被災地支援プロジェクト —ソフトバンクホークスOB選手による被災地の小学校での野球教室の実施 【ヤフー】 <ul style="list-style-type: none"> ●Yahoo!募金、Yahoo!基金を通じた募金 【福岡ソフトバンクホークス】 <ul style="list-style-type: none"> ●熊本・大分 地震災害復興支援プロジェクト「ファイト!九州」活動 —選手のユニフォームに「ファイト!九州」袖ワッペン着用 —募金活動の実施 —チャリティグッズの販売、一部売上金を寄付 —被災地訪問と野球教室の実施 —熊本と大分で被災された方を試合観戦に招待 —チャリティオークションの実施 —熊本で行う試合にて「熊本を、野球で元気に!」リストバンドを入场者全員に進呈 【SBプレイヤーズ】 <ul style="list-style-type: none"> ●子会社さとふるによる、さとふる納税を活用した被災地域への緊急支援募金



ソフトバンクグループ株式会社

〒105-7303
東京都港区東新橋1-9-1
TEL: 03-6889-2000(代表)
<https://www.softbank.jp/>

Copyright © 2017 SoftBank Group Corp. All Rights Reserved.

2017年8月

・ TM and © 2017 Apple Inc. All rights reserved. Apple, iPhone, iPadは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
・ Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。